

どうぶつこうえん ニュース



No.35

2000

春

 千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

トピックス

コサンケイ キジ目 キジ科

コサンケイと言われて姿を思い浮かべられる人はかなりの通。雄雌ともに派手さはなく、大きさもやや小ぶりのせいかキジ舎の中ではあまり目立たない存在です。

一見どこにでもいるようなキジですが、ベトナム中部の標高900m前後の森林というごく限られた地域を生息地にしています。この生息地が、ベトナム戦争の枯葉作戦で荒らされ個体数が激減したため、絶滅のおそれがある種としてワシントン条約附属書Ⅰに指定されました。

このような希少種を、飼育することになったからさあ大変。飼育担当となる私は動物が来るのを待っているだけですが、搬入にかかる手続きが複雑で時間がかなり事務担当者を悩ませました。

まず、このコサンケイが当園に入るまでの手続きについて大まかに説明しましょう。

海外からの輸入は、相手方との下話の後、通産省に輸入の申請をします。通産省は国内のワシントン条約の窓口である環境庁を通してワシントン条約事務局へ申請内容確認の手続きをとります。そして、事務局で相手国からの輸出申請の内容と照らし合わせた後、条約窓口へ連絡をします。連絡を受けた環境庁は条約の証明書を発行します。この証明書に基づき通産省は輸入の許可を出します。同じ様に相手方も相手国で輸出の許可を得ます。双方が許可を得てようやく動物の移動が可能になります。この間に必要になる書類はかな



りの量になります。コサンケイはこの様に事務担当者の苦勞の末に搬入された動物なのです。

これだけの手間がかかっても、なおこの地味なキジを導入する理由は、当園でも飼育繁殖をさせることで少しでも絶滅の危険性が低くなってくれればと考えるからです。

1996年より当園の小林が調整者として、国内の飼育繁殖計画を立てています。そして現在、順調に繁殖が見られ飼育個体数も徐々に増加しています。将来、動物園で繁殖した個体を野生に戻すことができるように、今後も調整者のもと国内外の動物園と協力して飼育していきたいと思います。

伴野 修一 (Syuichi Banno)

目次

CONTENTS

| | |
|------------------------------|---|
| 表紙【ワオキツネザル】 | ① |
| トピックス【コサンケイ】 | ② |
| 特集【ゴーゴーコースター登場】 | ③ |
| 飼育レポート | |
| 【カオムラサキラングール】 | ④ |
| こどもどうぶつえんへようこそ | ⑤ |
| 動物公園の動物②⑥【キングペンギン】 | ⑥ |
| 飼育よもやま話【ラクダ】 | |
| 動物公園日誌から【'99.10/1~'99.12/31】 | ⑦ |
| 編集後記 | |
| 裏表紙【タンチョウ】 | ⑧ |

表紙の動物説明 ワオキツネザル

キツネザルの仲間はマダガスカル島だけにしか生息していない原始的な特徴を数多く持ったサルで、その中でも一番良く知られているワオキツネザルは、マダガスカル南部の乾燥した林や川沿いの林などに数頭から10数頭の群れをなして生活しています。地上にもよく降り、名前の由来となった特徴ある尾（輪尾）をピンと立て歩く姿はとても目立ちます。群れの中では雌が雄より強く、先に餌を食べたり、いい休息場所を奪ったりします。果実の他、花や小動物を餌とし、通常一産一子ですが、飼育下では双子が生まれることも多いようです。

秦 舜二 (Shunji Hata)

動物飼育数

平成12年1月末現在
Classified number of animals
as of 31. Jan. 2000

| | | | |
|-----|----------|-----|-----------|
| 哺乳類 | 67種 358点 | 両生類 | 1種 1点 |
| 鳥類 | 84種 344点 | 魚類 | 2種 7点 |
| 爬虫類 | 5種 21点 | 総計 | 159種 731点 |

特集

遊園地にゴースター登場!!



遊園地（ドリームワールド）に、ついにジェットコースターが2000年3月下旬にでっかくオープン。名前は「ゴーゴースター」いかにも面白そうでしょ。

コンパクトでかわいらしいコースターはみんなの人気者間違いなし、身長が110cm以上あれば誰でも楽しめるからついつい乗りたくなっちゃう。

遊園地でさらにスリルと恐怖を求めたい人にはもってこい、全長207mの曲がりくねったレールを虹色の車に乗って最高時速37km/hで駆け抜ける爽快感はいかが？（1回300円）



しばらくお休みしていた急流すべりもきれいになって同時オープン。ゴーゴースターとあわせてお試して下さい。

井上 尚之 (Naoyuki Inoue)

番外

ドリームワールド 「スリル度」 ランキング

(勇気のある人、試してみては?)

- 1位 ツイスター
- 2位 ゴーゴースター
- 3位 フラッシュダンス
- 4位 急流すべり
- 5位 モンスター

カオムラサキラングール



26日令

サル比較舎の一角に、カオムラサキラングールという珍しいサルがいます。リーフイーター（葉を主として食べるサル）の仲間でスリランカの樹林帯にのみ生息し、国内でも飼育されているのは（財）日本モンキーセンターと当園だけです。このカオムラサキラングールが1999年9月25日に繁殖に成功しましたので、その飼育経過を報告します。

● 来園からペアリングまで ●

当園には1997年8月にスリランカ国立動物園より雄1頭、雌1頭が来園しました。来園時の年齢は雄が2歳で雌が3歳でした。9週間の検疫が終りサル比較舎に来た時、雌は割合落ち着いている様子でしたが、雄はまだ幼さが残り、雌や周囲を気にしている様子でした。先ず雄を環境に馴れさせることが必要と考えて、しばらくの間雄は展示室で、雌はその展示室に置いたドックケージの中で我慢してもらい、お見合いがてら様子を見ました。その状態で数ヶ月経ち、雄がドックケージの中に置いた雌の餌に手を伸ばすまでに馴れてきたため、雌もドックケージの外に出しました。こうしてなんとかペアリングに成功しました。

● 繁殖に至る経過 ●

ペアリングしてからしばらくの間、雄は雌を避けて一定の距離を保っていましたが、その後時々雌に近づくようになり、雌の頬ひげをいじったりするようになりました。雌は落ち着いており雄を嫌がることもなく、2頭の距離は徐々に狭まっていったようです。1999年の1月には2頭寄り添って毛づくろいをするまでになりました。

7月に入ると雌の腹が際立って大きくなりました。まだ年齢が若いこと、ラングールの仲間の常としていつも腹が大きいことなどから、妊娠とは確定できなかったの

ですが、以後注意深く観察するようにしました。そして9月25日の朝、母親が大切に灰色の赤ん坊を抱いているのを確認しました。体長約20cm、元気な雌の赤ん坊です。

● 育児の状況 ●

授乳が確認されて、当初全てうまくいっているかのようでしたが、トラブルは10日過ぎから起こりました。父親が赤ん坊に興味を示し始め奪い取ろうとするようになったのです。このことで母親ともみ合いになり、赤ん坊は手足を引っ張られて悲鳴を上げ、さらに悪いことに母親が赤ん坊を手足で床に押しつけたりする行動が見られるようになったのです。これは初産のために育児が未熟であることが大きな原因と考えられました。一時は雄を別室に隔離するか、人工哺育も考えましたがそうすることで将来群れで飼育出来なくなるなどの問題も出てきますのでいろいろ話し合った結果、活発に活動する昼間は父親と母子を屋内展示室と屋外展示室とで入れ替え制で展示する、プライベートな空間を与えるためにシュート（屋内と屋外の展示室をつなぐサルの通路）をオープンにする、などして様子を見ることにしました。幸いその後は一連のトラブルは収まり、母親の育児も安定しました。

● 赤ん坊の成長 ●



77日令

赤ん坊はしっかりと産まれた日からよく体を動かして、生後2週間で餌をしゃぶり始めて3週間を過ぎる頃には柔らかい餌を食べ始めました。1ヶ月経過すると顔が徐々に黒ずんできて、2ヶ月後には頬ひげも生え始めました。3ヶ月を過ぎた現在赤ん坊の体の色はほとんど親と変わらなくなり、よく餌を食べ活発にジャンプするまでに成長しました。

今後も赤ん坊の健やかな成長を願いつつ、注意深く観察していきたいと思っています。

横山 浩 (Hiroshi Yokoyama)

子どもどうぶつえんへようこそ

Welcome to Children's Zoo

～子ども動物園での動物体験学習 ④～

－ ま と め に か え て －

このシリーズの最後では、参加してくれた子供たちの感想、この活動に対する学校の先生の感想、子ども動物園職員の感想、そしてその子供たちが数年たってどんなことを記憶しているのか、などをまとめてみたいと思います。

子供たちは、「ヤギの糞をるところを初めて見たよ、外側が黒くて内側は緑色だね」「ウマの毛をとかすとたくさんアカがでた、餌をあげたら手によだれがついてまだ臭いがする」「モルモットのソラちゃん、元気にしていますか」など、動物とかがわった内容を率直に表現していました。

先生方は、「日頃、動物と接することがあまりない団地生活の中で、初めてヒツジに触り、動物への興味が深くなった」「ウンチはほんとは汚くない、小さな草が入っているんだ、と発見したことを教えてくれた」「消極的だった子がウサギを抱けたことで自信を持って行動できるようになった」「物語の中で主人公と犬との心のかかわりあいを理解できるようになった」など、一人一人の体験が意味深いものだったことを指摘していました。また、「職員方の動物の世話をしているときの優しい雰囲気にとっても感動し、忘れられない体験です」など、職員の態度に関する感想も寄せられました。

担当した職員も、毎回子供たちの態度や理解の程度などについて感想や反省を書きます。「傷の消毒をいっしょにやる時、ピクピクする子と積極的にする子と別れてしまい、個性がでてももしろかった（モルモットグループ）」「動物の説明をするとき、すぐそばに動物がいると気持ちが動物に集中して聞いてくれなかった（ハツカネズミグループ）」「先生が職員といっしょにウサギを子供のところに連れてきてくれて、その子も安心したらしくスムーズに実習ができた（ウサギグループ）」など、子供たちの個性あふれる反応に感心することもある一方、自分の描いた計画が予定通りにいかないこと、先生方の協力が必要なことなどに触れています。

実はこの活動に4、5年前に参加した小学5、6年生にお願いし、昨年7月「体験学習で覚えていること」を作文にしてもらいました。すると「一匹一匹に名前がついていた・丸くて臭いウンチだった（ウサギグループ）」「毛が思ったよりごわごわしていた・ポーとした動物だった・思っていたより



大きくて、たしか“ソラ”という名だった（モルモットグループ）」「しっぽが曲がったネズミがいた・赤ちゃんは毛がなくて茶色だった（マウスグループ）」「ウマは本当に大きかった・ブラシをかけると粉のようなアカがでた・馬小屋の中の干し草はきれいだった（ウマグループ）」「糞が怖くてよけながら掃いた・ヒツジの毛は綿飴みたいだった（ヤギ・ヒツジグループ）」など、わずか50分あまりの体験を具体的に覚えていて、本当に驚きました。

実習後、送ってくださった子供たちの感想文やお手製の新聞は、職員にとっての宝物です。実習の成果を「具体的な手応え」としてとらえることができ、次の実習内容への糧となるからです。今後も先生方と協力し、より豊かな体験の場になるよう努力したいと思います。

子ども動物園 (Children's Zoo)

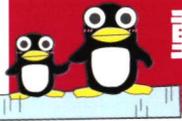
お 知 ら せ

子ども動物園は、改修工事に伴い、平成12年4月より13年秋（予定）まで閉園いたします。

団体指導・動物体験学習などもお休みさせていただきます。

なお、平成12年5月中旬（予定）より幼児・小学生（1・2年生）の団体向けに、新しいプログラムの実施を計画しております。詳しい内容は4月以降、電話でお問い合わせください。

【代表電話 043-252-1111】



動物公園の動物…②⑥

The animals in the Chiba Zoological Park

キングペンギン



ペンギンは6属17種に分類され、最小のものはコガタペンギンで体重1kg強、体高40cm程度、最大のはエンペラーペンギンで体重30kg以上、体高120cm程度と大きささまざまです。その中で2番目に大きいペンギン、それがキングペンギン（オウサマペンギン）です。

南緯45°以上の海域に生息し、亜南極圏や南極圏内の島々で繁殖します。体高80cm程度で、首の両側に曲玉形であざやかなオレンジ色の斑紋があります。上嘴は黒ですが、下嘴はオレンジ色です。餌は小魚やイカなどを食べ、100~300mくらい潜水して餌を取ることができ、5分以上潜っていることが可能です。動物園では小アシや時に小さなサバを与えています。

ペンギンは鳥なので卵を産みますが、どの種類も陸で産み親が交代で卵を温めます（エンペラーペンギンは雄のみが抱卵）。ふつうは卵の上に下腹部をあて腹ばいのような格好で温めますが、キングペンギンの場合、直立したまま温めるという一風変わった抱卵方法をとります。1つの卵を趾の上に乗せ抱卵斑と呼ばれる皮膚の露出した部分を卵に密着させ、お腹のたるんだ皮（抱卵のう）ですっぽり覆ってしまうのです。巣も作らないので卵を持ったままの移動が可能です。このようにして卵を温め約54日後に孵化します。野生のキングペンギンの場合夏が始まるころ卵を産むのですが、飼育下でも6月頃卵を産むことが多く、これが悩みの種なのです。同じ夏でもキングペンギンが住んでいる所と日本では気温が30℃位の差があり、とても夏の間中屋外で抱卵させるわけにはいきません。もちろん当園には冷房室もあり、夏の間はそこへ入れるのですが、少し狭いらしく、卵を抱いているペア以外の個体が、卵が珍しいのか抱きたいのかちょっかいを出し、争っているうちに卵を割ってしまうのです。そこで昨年からは卵を産んだらすぐに取り上げ、孵卵器に入れて孵化させるという方法（人工孵化）を試みましたが、残念ながら卵は無精卵で現在まで孵化には至っていません。今後はペンギンたちにできるだけ居心地のよい環境を提供し、有精卵が得られるよう努力していきたいと思っています。

伊藤 泰志 (Yasushi Ito)



飼育よもやま話

Keeper's Episode

「ラクダ」

1998年の年も明け、正月気分も覚めた1月の下旬、私はいつもの休みを消化して次の日の朝出勤すると「鈴木さんへ、フタコブラクダの♀（クイ）が脱肛し、肛門より出血しています。気を付けて下さい。中村」というメモ書きがデスクの上にあります。私は「バカなことを何が脱肛じゃい、何か見間違いをしたのだろう」と本気にしませんでした。すぐに作業服に着替え、ラクダ舎に走って行き獣舎の扉を開けて雌（クイ）の様子を観察してみました。すると後足上部の肛門の周辺にかすかに血のあらししいものがみられましたが、前日の餌も残らず食べてありますし、いつものように私を見て、早く放飼場に出してほしいと室内を走り回ります。私はやはり中村君が見間違いをしていると確信しました。その後、担当獣医の市川先生が来て「昨日、中村君にクイが脱肛しているから見に来てほしいといわれたが、とくに異常は見当たらない」と言っていたので、益々私は中村君を疑ってしまいました。その日は何事もなく過ぎ、次の日、私はラクダ舎に行くととても驚いてしまいました。クイの肛門から以前テレビで見た幻の花“ラフレシア”を小さくしたものが、咲いたように付いているではありませんか。「これが脱肛だ」と思



い、すぐに市川先生に連絡をし来て貰いましたが、市川先生が来ると正常な肛門に戻ってしまい、その後も何度か花が咲いたように脱肛したのですが、市川先生が来る前に正常に戻ってしまいます。困った市川先生は過去のクイのカルテを調べたところ、5年程前に雄（カイ）に陰部をかじられたことが原因で、括約筋が右半分なくなってしまう、肛門のしまりが悪くなり、脱肛してしまうと判りました。予防策は人間の“ぢ”の予防と同じで、寒さを防ぎ暖かくする方法しかありませんので、獣舎の窓に防風用の板を入れ、クイの室内の前には家畜用の赤外線ライトを点灯し暖めています。その後は脱肛することもなく現在に到っています。

鈴木 克典 (Katsunori Suzuki)



動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'99年10月1日~'99年12月31日

- 10月 4日 ウマ類, ムフロン, トナカイに腰マヒ予防薬接種
- 10月 5日 カリフォルニアアシカ (雄マヤ), 繁殖用貸与で秋田市へ搬出
- 10月 7日 カオムラサキラングールの繁殖について, フジTV, TV東京他取材あり
- 10月10日 緊急保護のスローロリス (雄2), 本日より動物科学館で展示開始
- 10月12日 第9回ソウ会議に, 秦課長出席 (14日まで, 愛媛県とベ動物園にて)
- 10月17日 **「折り紙教室」開催 (講師 レクリエーションコーディネーター 鷹背 妙子氏)**



- 10月21日 ワタボウシバンシェ (2頭), シロガオマーモセット (2頭), セスジクスクス (1頭), 草津熱帯圏へ寄贈
- 10月22日 中学生職場訪問あり (千葉市立幕張西中学校4名)
- 10月24日 「ワンポイントウォッチング」開催 (クサガメ) (講師 飼育課 林 まさ代)
- 10月26日 第11回種保存会議に, 宗近副園長, 小林補佐, 牧野係長, 清田出席 (27日まで, 東京都にて)
- 10月31日 「動物をはかる会」開催 (千葉市計量検査所と共催)
- 11月 2日 中学生職場訪問あり (四街道市立旭中学校5名)
- 11月 3日 「ZOOクイズラリー」開催
- 11月 4日 中学生職場訪問あり (千葉市立椿森中学校5名)
- 11月 5日 中学生職場訪問あり (千葉市立稲毛中学校5名)
- 11月 8日 カリフォルニアアシカ (雌1), 動物交換で搬出
- 11月 9日 エリマキキツネザル (雄1), 動物交換で新着
- 11月11日 血液更新のため, 東京都恩賜上野動物園とアピシニアコロプスの雌同志の交換実施
- 11月13日 「アニマルスクール」開催一鳥のおはなし (講師 飼育課 秦課長)

11月14日 **「写真コンクール授賞式・講演会」開催**
(講師 動物自然写真家 吉野 信氏)



- 11月15日 農林水産技官2名, 小動物, サルの検疫について実習 (19日まで)
- 11月17日 カササギガン (雄1, 雌1), 食害にて死亡
- 11月28日 「ワンポイントウォッチング」開催 (レッサーパンダ) (講師 飼育課 中村 彰宏)
- 11月30日 カリフォルニアアシカ (雄1), ズーラシアへ寄贈
- 12月 7日 第47回動物園技術者研究会に, 辻村, 足立, 松本出席 (9日まで, 横浜市にて)
- 12月12日 「クリスマス音楽会」開催
- 12月13日 シロガオマーモセット (2頭), ピグミーマーモセット (1頭), 動物交換で長崎鼻パーキングガーデンへ搬出
- 12月14日 中学生職場訪問あり (千葉市立千種台中学校4名)
- 12月15日 中学生職場訪問あり (千葉市立朝日ヶ丘中学校3名)
- 12月21日 **ホオジロガモ (雄1, 雌1), 東京都多摩動物公園より受贈**



小林 正典 (Masanori Kobayashi)

編集後記

西暦2000年に突入し, ビッグニュースです。上野動物園へお嫁入りしたモモコ (ゴリラ) の “おめでた” が, 確認されました。今は亡き夫のビジュの「忘れ形見」というわけです。順調にいけば7月に, 国内では12年ぶりの二世誕生です。何とか無事出産してもらいたいものです。どうぶつこうえんニュース次回発行予定は, 平成12年6月1日です。

(白井 剛)



タンチョウ

